環境省
Ministry of the Environment

環境を「てこ」に地域を豊かに

平成31年３月20日（水）

中国四国地方環境事務所

持続可能な社会に向けた国際的な潮流

■　2015年９月　**「持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択**
　※　複数の課題の統合的解決を目指す**SDGｓ**を含む。

■　2015年12月　**「パリ協定」**採択
　※　２℃目標達成のため、21世紀後半には温室効果ガス排出の**実質ゼロ**を目指す。
　※　各国は、**削減目標**、**長期の戦略**、**適応計画**の策定などが求められる。

SDGsの17のゴール

（資料：国連広報センター）

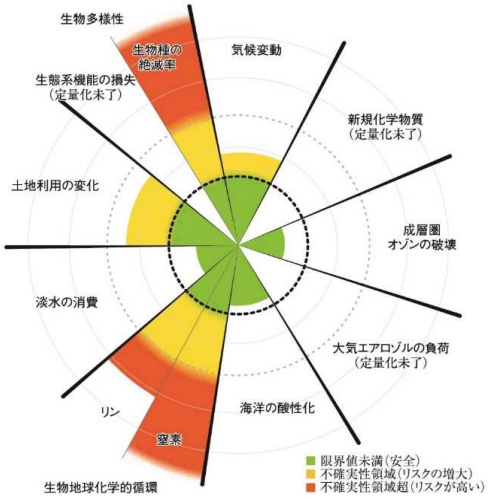
時代の
転換点

パリ協定の採択

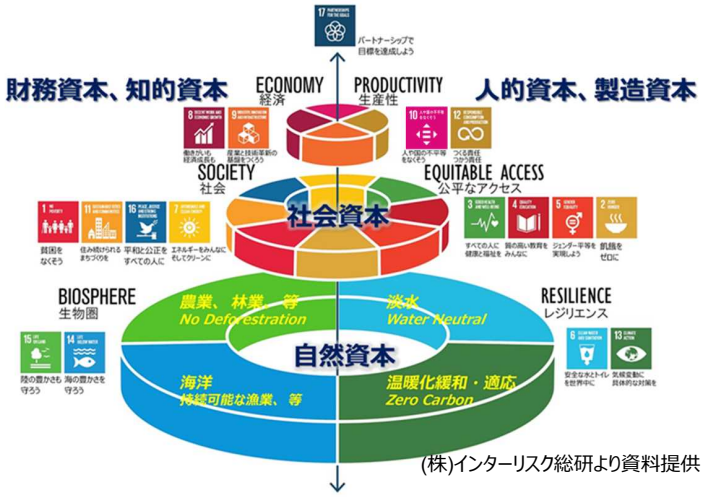
パリ協定が採択されたＣＯＰ２１の首脳会合でスピーチする安倍総理
（写真：首相官邸ＨＰより）

新たな文明社会を目指し、**大きく考え方を転換(パラダイムシフト)**していくことが必要。

環境・経済・社会の統合的向上が不可欠



プラネタリー・バウンダリー

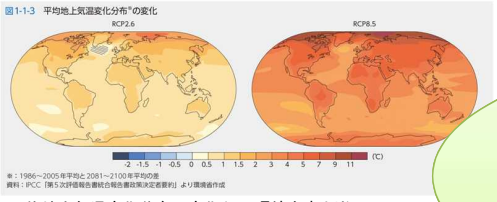


(株)インターリスク総研より資料提供

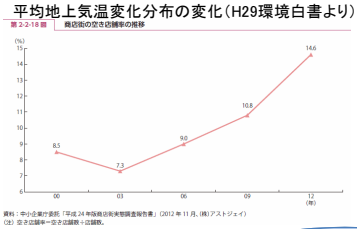
SDGs "wedding cake" illustration presented by Johan Rockström and Pavan Sukhdev

1. 地球の限界：人間が安全に活動できる範囲をすでに超えている。
2. 社会活動と経済活動は、自然資本を基盤に成り立っているものであり、SDGsは環境・経済・社会に統合的に対応することを求めている。

我が国が抱える環境・経済・社会の課題



平均地上気温変化分布の変化（H29環境白書より）

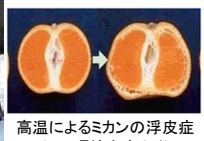


商店街の空き店舗率の推移
（中企庁HPより）

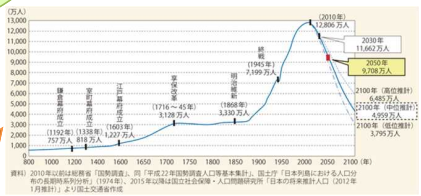
環境の課題

○温室効果ガスの大幅排出削減、気候変動への適応
○資源の有効利用
○森林・里地里山の荒廃、野生鳥獣被害
○生物多様性の保全
など

ニホンジカによる被害
（環境省HPより）



高温によるミカンの浮皮症
（H30環境白書より）



我が国人口の長期的推移
（国交省HPより）

相互に連関・複雑化

経済の課題

○地域経済の疲弊
○新興国との国際競争
○AI、IoT等の技術革新への対応
など

社会の課題

○少子高齢化・人口減少
○働き方改革
○気候変動により激甚化が懸念される大規模災害への備え
など

人工知能のイメージ（産総研HPより）

環境・経済・社会の統合的向上が求められる！

H29年7月九州北部豪雨
（国交省HPより）

第五次環境基本計画の基本的方向性

目指すべき社会の姿

1．**「地域循環共生圏」**の創造。

※　各地域がその特性を活かした強みを発揮
→　地域資源を活かし、**自立・分散型の社会**を形成
→　地域の特性に応じて補完し、**支え合う**

2．**「世界の範となる日本」**の確立。

※　①　**公害を克服**してきた歴史
②　優れた**環境技術**
③「もったいない」など**循環**の精神や自然と**共生**する伝統を有する我が国だからこそできることがある。

3．これらを通じた、持続可能な循環共生型の社会（**「環境・生命文明社会」**）の実現。

第五次環境基本計画における施策の展開

○　分野横断的な**６つの重点戦略を設定**。
→　**パートナーシップ**の下、環境・経済・社会の **統合的向上を具体化**。
→　経済社会システム、ライフスタイル、技術等あらゆる観点から**イノベーションを創出**。

６つの重点戦略

①持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築

○ＥＳＧ投資、グリーンボンド等の普及・拡大
○税制全体のグリーン化の推進
○サービサイジング、シェアリング・エコノミー
○再エネ水素、水素サプライチェーン
○都市鉱山の活用　等

洋上風力発電施設
（H28環境白書より）

②国土のストックとしての価値の向上

○気候変動への適応も含めた強靭な社会づくり
○生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）
○森林環境税の活用も含めた森林整備・保全
○コンパクトシティ・小さな拠点＋再エネ・省エネ
○マイクロプラを含めた海洋ごみ対策　等

土砂崩壊防備保安林
（環境省HPより）

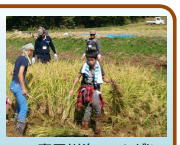
③地域資源を活用した持続可能な地域づくり

○地域における「人づくり」
○地域における環境金融の拡大
○地域資源・エネルギーを活かした収支改善
○国立公園を軸とした地方創生
○都市も関与した森・里・川・海の保全再生・利用
○都市と農山漁村の共生・対流　等

バイオマス発電所
（H29環境白書より）

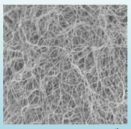
④健康で心豊かな暮らしの実現

○持続可能な消費行動への転換
（倫理的消費、COOL CHOICEなど）
○食品ロスの削減、廃棄物の適正処理の推進
○低炭素で健康な住まいの普及
○テレワークなど働き方改革＋CO2・資源の削減
○地方移住・二地域居住の推進＋森・里・川・海の管理
○良好な生活環境の保全　等


森里川海のつながり
（環境省HPより）

⑤持続可能性を支える技術の開発・普及

○福島イノベーション・コースト構想→脱炭素化を牽引
（再エネ由来水素、浮体式洋上風力等）
○自動運転、ドローン等の活用による「物流革命」
○バイオマス由来の 化成品創出
（セルロースナノファイバー等）
○AI等の活用による生産最適化　等


セルロースナノファイバー
（H29環境白書より）

⑥国際貢献による我が国のリーダーシップの発揮と戦略的パートナーシップの構築

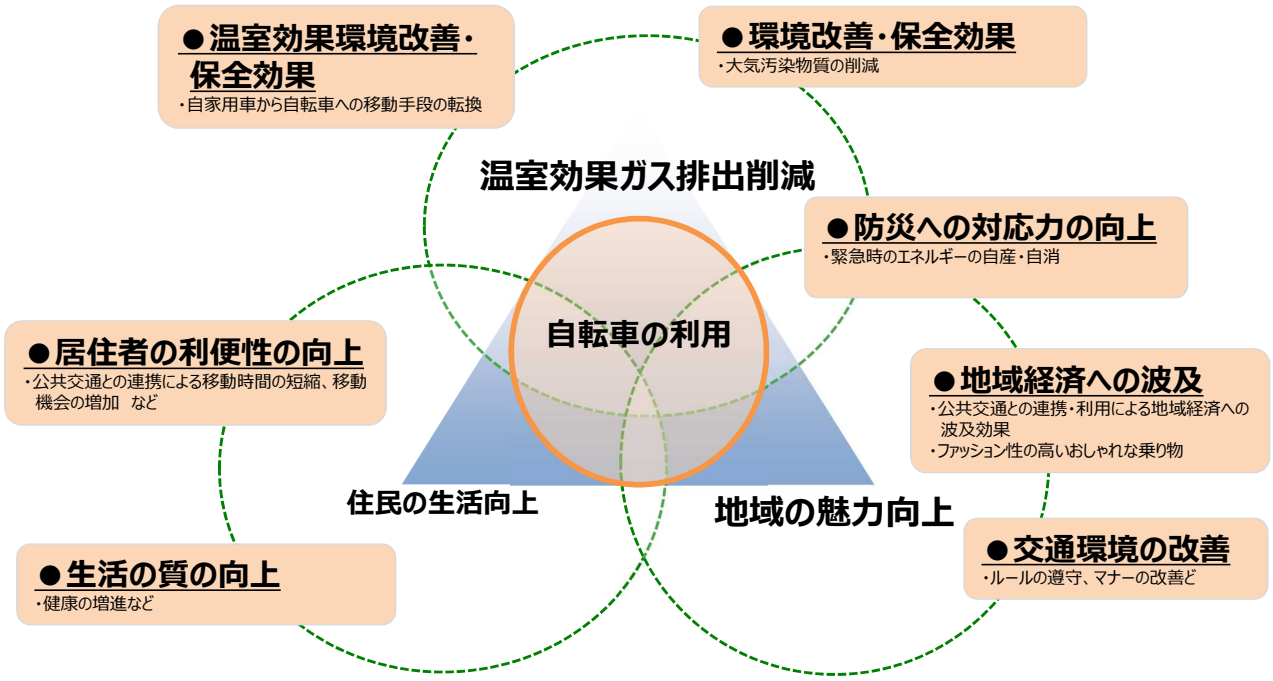
○環境インフラの輸出
○適応プラットフォームを通じた適応支援
○温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」シリーズ
○「課題解決先進国」として海外における
「持続可能な社会」の構築支援　等

日中省エネ・環境フォーラム
に出席した中川環境大臣

環境省は、地域の課題解決をお手伝いします。

環境施策をきっかけとして、地域が抱える経済・社会の課題も同時に解決する視点を持っています。

都市も農山漁村も含めた各地域が自立・分散型の社会を形成しつつ、
近隣地域等と共生・対流することで新たなつながりの価値を生み出す

“地域循環共生圏”の具現化

自転車利用がもたらす多様な効果（マルチベネフィット）